

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【上小小学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

次年度に向けて
(3月)

年度末評価
(2月)

反映

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<p>【学習上の課題】基礎学力の定着、理科の平均点を向上させることが課題。</p> <p>【指導上の課題】教員側が、学習内容に沿ったICT機器の活用を行い、児童の学力向上を目指す。</p>	<p>朝自習「基礎学習の時間」を活用して、通年で国語の書きと計算の基礎問題に取り組む。</p> <p>全国学調・市学調の全体的な向上を目指す。</p> <p>「これまでの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目についても肯定的な回答を増やすため、各担任の授業改善を推進する。</p>
思考・判断・表現	<p>【学習上の課題】授業で「個で考える時間」を十分に確保し、個別最適化された学習を展開する。</p> <p>【指導上の課題】ミライシード「オクリンク」「ムーノート」を効果的に活用し、学習の理解度を教師側で適宜把握する。</p>	<p>全国学調の国語「A話すこと・聞くこと」の項目では、埼玉県の平均を下回った問題があったので、日々の授業の中で、「話す力」「聞く力」を高められるような授業展開を行っていく。</p> <p>「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問項目について、5・6年生で多くの肯定的な回答を得られた。今後も、その数値の維持を目指すために、学校全体で自主学習の取組を進める。</p>

<小6・中3> (4月~5月)

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		<p>①結果分析(管理職・学年主任等)</p> <p>②詳細分析(学年・教科担当)</p> <p>③分析共有(児童生徒の実態把握)</p> <p>職員会議・校内研修等</p>
思考・判断・表現		

結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	<p>国語の知識・技能、(1)言葉の特徴や使い方に関する事項においては、良好な結果であったが、(2)情報の扱いに関する事項については、課題が見られた。情報と情報の関連付けや語句と語句の関係の表し方を理解し、活用することに課題があり、情報活用の視点を持ちながら指導改善をしていく必要があると考えられる。</p> <p>算数の知識・技能は、良好な結果であった。個別の領域では、特にC変化と関係が良い結果が得られた。</p>	
思考・判断・表現	<p>国語の思考・判断・表現、B書くことでは、良好な結果であったが、個別の問題「目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書く」では、やや課題が見られた。今後は、国語の授業だけでなく他教科においても、事実・感想・意見を区別して書くことを指導していく。算数の思考・判断・表現は、良好な結果であった。しかし、折れ線グラフから必要な数値を読み取り、記述する問題では、無解答率が高かったため、同類の問題を繰り返し学ぶ機会や解答の仕方についても今後指導していく。</p>	

①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	B	毎週金曜日の朝自習「基礎学習の時間」に、国語の漢字・算数の計算などの学習に取り組むことができている。また各教科の授業においても、振り返りの時間を設定し、児童が自分の学んだことを言語化したり、担任が学習計画の見直しを行ったりすることが習慣化されてきている。	変更なし
思考・判断・表現	B	全校で自主学習に取り組む、自分で課題を決めて学習を進め、表現する力を定着させている。また自分の考えや意見をノートに書き残す方法だけでなく、オクリンクや共同編集アプリ等に入力し、学級全体で共有するなど、表現力の向上に取り組むことができている。	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)